

**交通安全鼓笛パレード**  
日ごろの成果をまちなかで披露

5月27日、市内の小学生による交通安全鼓笛パレードが行われました。

白三小で行われた開会式で、代表児童が交通安全の誓いを述べた後、中町交差点までの約1kmのコースを、市内全15校の児童約1,300人がパレードしました。

児童たちは、元気に演奏を披露し、交通安全を呼び掛けました。沿道にはカメラ等を手にした保護者や多数の市民が詰め掛け、日ごろの練習の成果に拍手を送っていました。



▲まちなかを元気にパレードする児童

**東北・歴史まちづくり担当者会議**  
東北地方の歴史まちづくりを推進

6月4日・5日の2日間、文化センター(中田)で東北・歴史まちづくり担当者会議が開かれました。

「歴史的風致維持向上計画」の国認定を受けた都市による事例発表では、本市の担当者が東北地方から集まった約100人の参加者に、本市の歴史・伝統・文化を活かしたまちづくりを紹介しました。

また、小峰城道場門遺構や市立図書館などの視察も行われ、参加者は、歴史まちづくりの取り組みについて認識を深めました。



▲本市の取り組みを紹介する様子

**沿道緑化フラワーロード事業**  
地域が結束し沿道を花で彩る

6月1日から14日にかけて、白河地域6地区で「沿道緑化フラワーロード事業」が行われました。

作業を行ったのは、昭和町町内会(伊藤満会長)、小田川第一・第二白寿会(脇孝夫会長)、住みよい五箇をつくる会(深谷稔会長)、小丸山寿栄会(鈴木辰男会長)、久田野町内会(佐藤安男会長)、萱根町内会(十文字忠一会長)で、各主要道路の沿道にペチュニアなど5種類の苗約3万本を植栽しました。この事業は各地域でも行われています。



▲昭和町町内会の作業の様子

まちの話題やイベント  
を皆さんに  
まち  
Topics



▲中央中完成予想図

**中央中校舎建設安全祈願祭**  
新校舎は平成27年度中に完成予定

5月29日、中央中(明戸)で校舎建設工事の安全祈願祭が行われ、関係者が工事の無事を祈りました。

現在の校舎は、昭和46年に建てられたもので、建設から40年以上が経ち老朽化が進んでいたことから建設が検討され、このたび着工に至ったものです。

新校舎は、解体した木造校舎と北校舎の跡地に建設され、地上3階建ての鉄筋コンクリート造りで、延べ床面積は約7,500㎡。1階には展示スペース、1階から3階には各種イベントに対応した可動式間仕切りがある多目的スペースが設けられるほか、屋上には太陽光発電施設が設置されます。なお校舎は、平成27年度中に完成する予定です。



▲工事の安全を祈る関係者

**市内循環バスラッピング車両出発式**  
親しみやすいバスを目指して

5月26日、市役所正面玄関前で、白河カトリック幼稚園の園児とダルライザー、しらかわんが見守るなか、市内循環バスラッピング車両出発式が行われました。

ラッピングは、市内循環バス、表郷地域巡回バス、東地域巡回バス、大信地域自主運行バスの計6台に、バスに親しみを持っていただくことと、観光客へのPRを兼ね市公認の3キャラクターや観光資源がそれぞれ描かれています。



▲テープカットをする参加者